

ものを長期間使う方法及び再利用方法等に関する調査

1 調査目的

粗大ごみの減量を推進する情報を発信するため、本調査を実施しました。

2 調査方法

- (1) 粗大ごみ市民自己搬入施設における、搬入品目及び数量を集計しました。
- (2) 搬入数量の上位を占める品目について、メーカーや修理を行う事業者等へのヒアリングを行いました。

3 調査期間

平成25年4月から平成25年6月まで

4 調査対象施設 ※上記2(1)の調査

- (1) 港南資源回収センター（港南ストックヤード）
- (2) 神明台ストックヤード
- (3) 鶴見資源化センター（鶴見ストックヤード）

5 調査結果

- (1) 搬入500個以上のもの ※総搬入個数：30,316個

搬入品目	個数
家具（その他200円）	3,774個
ふとん	3,720個
椅子	2,325個
家具（その他500円）	1,537個
家電（その他200円）	947個
ストーブ・ヒーター	751個
照明器具	642個
じゅうたん・カーペット	633個
自転車	629個
扇風機	503個

- (2) ふとんに関する調査

ふとんメーカーに、ふとんを長く使用する方法や修理等についてヒアリングを行いました。結果は以下のとおりです。

ア 最近では、量販店などで購入される方が増えています。購入された品物の素材、製法、縫製などによりますが、多くの品物は合成繊維が使用されており、打ち直しはできないと思われます。また、ふとんに使用されている中綿等の購入も取扱い店の減少により、購入が難しくなっています。

イ 長く使用していただくには、購入後のメンテナンス等を考えた商品（定期的なクリーニングや打ち直し等が出来るもの）の購入をお勧めします。

- (3) 椅子に関する調査

家具のうち、椅子・ソファの修理を専門に行う事業者には、椅子・ソファを長く使う方法や修理の方法についてヒアリングを行いました。結果は以下のとおりです。

ア 一般家庭の食堂の椅子やラタンのクッション・ソファ等、足がしっかりした椅子はカバーを張替えるだけで見事に生き返ります。また、椅子とクッションの修理であれば、

ホームセンターなどで工具と生地等をそろえれば、修理は可能です。

イ ソファの張替えなどは、特殊な工具などを使用しますので、熟練した職人でなければ修理は難しいです。

(4) 椅子の修理方法に関する調査

横浜市青葉リサイクルプラザ（平成23年3月閉鎖）において、当時椅子・家具の修理に従事していた当公社職員に、椅子の修理方法についてヒアリングを行いました。結果は以下のとおりです。

ア 椅子の座面の交換は、机の上に椅子を裏返しに置き、座面を止めているネジ等を外し、座面の裏側の止め具をはずします。

イ 座面生地の止め具を抜き、心材・クッション材・古生地・裏生地に分けておきます。

ウ 張替え用の生地、クッション材、心材の順に重ね合わせ、四面の中央部に止め具を打ちます。

エ 生地を引っ張りながら四つ角を餃子の皮のように、重ねて止めていきます。

オ 四つ角を止め終わりましたら、四面を2cm幅で止めます。

カ 座面の上に椅子本体を乗せて、固定ネジで止めて完成です。

※本調査結果は、「粗大ごみを出す前に…」として取りまとめ、当公社ホームページで情報発信しています。